

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島北高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月19日(月) 13:00~14:30
- 3 開催場所 羽島北高等学校会議室
- 4 参加者
- |     |        |                        |
|-----|--------|------------------------|
| 会長  | 三輪 浩子  | 社会福祉法人羽島郡福寿会 事務局長      |
| 副会長 | 神山 久美子 | 羽島北高等学校PTA 3年次副委員長     |
| 委員  | 青木 秀益  | 柳津青少年育成市民会議 推進委員       |
|     | 小川 篤子  | 柳津佐波女性の会               |
|     | 熊谷 康   | カラフルタウン岐阜 プレジデント       |
|     | 河野 公洋  | 岐阜聖徳学園大学経済情報学部 教授 (欠席) |
|     | 廣瀬 進一郎 | 北塚地区自治会 顧問             |
| 学校側 | 上田 和伸  | 校長                     |
|     | 種田 昭彦  | 教頭                     |
|     | 税所 淳子  | 事務長                    |
|     | 鷺見 浩章  | 教務部長                   |
|     | 佐野 裕太  | ICT推進室長                |
|     | 加藤 秀徳  | 総務研修部長                 |
|     | 福島 佳代子 | 進路支援部長                 |
|     | 須田 勇人  | 生徒支援部長                 |
|     | 竹尾 真希  | 総合探究担当                 |

## 5 会議の概要(協議事項)

(1) 「データで見る羽島北 2023」をもとにした本校の現状と課題について

意見1:入学時と卒業時の学力を比較して、生徒一人ひとりの学力を十分に伸長できているのか。

⇒十分とは言えないところがあり、本校の課題と捉えている。毎年度、年次ごとに進路希望調査を行っている。その調査を分析してみると、個々の3年次生の進路希望と進路先はほぼ一致しているが、過去をさかのぼって1年次生当時の進路希望と進路先を比べてみると異なっているケースが多い。結果のみで結論付けることはできないが、入学時の進路希望実現に向かう姿勢の育成や支援の充実を図っていく。このことは学習活動のみならず、ホームルーム活動や部活動などのあらゆる教育活動にあてはまることである。スモールステップ（小さな成功体験）を積み重ね、生徒一人ひとりの夢を確実に叶える学校を目指す。

意見2：ボランティア活動に対する参加人数が多く、生徒のボランティア活動に対する意識の高さがうかがえる。しかしその反面、活動内容が清掃活動に偏っているため、地域等と連携して今後を引き継いでいける活動を実施してほしい。

⇒本校における生徒の実態として、ボランティア活動に対する参加意識が高い。今後において、本校の生徒会と地元の自治会が協議する場を設定し検討していく。

意見3：卒業生に対するアンケートの項目において、本校に入学してよかったと思う割合が大半を占め、高校生活の充実度や満足度の高さがうかがえる。このことは、将来の進路、興味や関心に応じた個別最適な学びが叶えられていることにある。

⇒県内に単位制高等学校が増えてきている中において、引き続き、本校の強みを生かし、活気に満ち明るく特色ある学校運営を推進していく。

意見4：ICT機器の活用を普及することを肯定的に受け取る半面、家庭でのわが子の様子を見てみると、スマートフォン等に触れている時間が長く、家族間の会話が少なくなってきたのが非常に気掛かりである。

⇒ICT機器は生活をよりよくするためのツールである。学習活動を含めて生活全般にわたって、ICT機器の効果的な活用に結び付けていく。例えば、日々の授業においては、ICT機器の活用により生み出された時間を、教師と生徒もしくは生徒同士が話し合ったり、生徒自らがじっくりと考えたりする場面にあてることができる。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。また、どの委員からも活発に意見が得られ、本校の課題やその改善のための具体的な手立ての示唆を得た。すぐに改善できる点については実行していく。

また、学校運営協議会委員の方々はもとより、学校の職員間でも情報を共有し、未来志向の学校運営を積極的に行っていくことを確認した。